

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
地域振興課	広報統計係（内線 253 ）

項目番号	1	実施項目	SNSを活用した情報発信の充実
5年度計画の内容		・ホームページを再構築（リニューアル）する。 ・町公式LINEのガイドラインを作成する。 【年間70件以上の情報発信】 【友だち登録者数1,100人】	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		・スマホの普及によりインターネットの利用環境が変化したことに対応するとともに、観光情報や子育て支援情報を充実させるため、ホームページのリニューアルに取り組みました。（令和6年4月運用開始） ・町公式LINEの運用にあたり利用者に誤解や混乱が生じないようにするため運用方針（ガイドライン）を定めるとともに、友だち登録数を増やすために、広報紙や庁舎内において募集を行い、定期的な生活情報の配信や災害時の情報配信に努めました。 【年間情報発信数：109件】 【年度末友だち登録数：1,102人】	
		該当する箇所に○をつけてください。	
		☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 急激に進む情報化社会において、誰もがいつでも手軽にスマホで情報が手に入る時代であり、行政が発信する情報は正確でかつ即時性が求められるため、リニューアル後の運用が重要である。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	13,506千円	うち一般財源 13,506千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係（内線 254 ）

項目番号	2	実施項目	デリバリーとベ(出張出前講座)の開催	
5年度計画の内容		・ 講座メニュー・開催方法（オンライン等）について検討 ・ 出張出前講座のテスト開催の実施		
5年度の取り組み内容 と評価、分析		講座メニュー・開催方法（オンライン等）について検討し、素案を作成した。 出張出前講座のテストについては実施できていない。		
		該当する箇所に○をつけてください。		
		a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		bまたはcの理由		
		検討に留まりテスト開催には至っていないため。		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。		
		進捗が遅れているところ、検討結果に基づき開催につなげるべく早急に取り組む必要がある。		
5年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
社会教育課	社会教育係（内線 713）

項目番号	3	実施項目	キラまち事業の推進	
5年度計画の内容	地域コミュニティの醸成のために、キラまち事業の周知に努め、講師や技術的なアドバイザーの派遣等を行うなど、区や団体等が充実した活動ができるように支援する。 ・分野ごとに講師等の人材を整理しデータ化（人材バンクの整備）する。 ・区長会・分館長会において情報提供を行い、事業実施につなげる。 【実施件数 1 件以上】			
5年度取り組み内容 と評価、分析	分野ごとに講師等の人材バンクの整備を行うとともに、区長会や分館長会で事業の活用呼びかけを行ったが、事業の実施には至らなかった。			
	該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 ☒ b やや遅れ気味 c 未着手			
	b または c の理由 事業の推進に向けてPRに取り組んだが、実績が伴わなかったため。			
推進部署の課長の所見	5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 新型コロナウイルス感染症の流行以降、区や公民館活動の自粛など事業実施に影響があったことも否めないが、各区や団体からの申請は無かった。今後、区長会や分館長会での周知だけでなく、町民にキラまち事業の意図や魅力をPRする手法を再度検討する必要がある。			
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
上下水道課 町民課		下水道管理係（内線563） 環境衛生係（内線521）	

項目番号	4	実施項目	効果的な汚水処理施設整備の推進
5年度計画の内容		・公共下水道事業全体計画の見直しに伴い、整備区域を縮小する。 ・公共下水道事業全体計画区域を除く地域において、10人槽以下の住宅に対して、合併浄化槽への転換をする補助金制度について周知し、促進することで、汚水処理普及率の向上を図る。 【汚水処理人口普及率81.2%】	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		・下水道事業審議会を開催し、少子高齢化に伴う人口減少や、町財政状況など社会情勢の変化に伴い、今後は人口規模に見合った整備をする必要があるため下水道整備区域の縮小について審議した。 開催回数：3回 委員数：15人 ・審議会より答申がなされ、下水道整備区域を縮小することについて委員全員の承認を得た。公共下水道全体計画の見直しを行い、全体計画整備区域を縮小した。（整備面積：441.3ha⇒274.3ha） ・転換促進の啓発及び適切な補助制度の活用を図り、新たに4基の合併処理浄化槽への転換を推進した。 【令和5年度末時点の汚水処理人口普及率 80.8%】 該当する箇所には○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手 bまたはcの理由 令和4年度からは主に市街化調整区域の整備を進めているが、当該区域は市街化区域と比べて農地等が多く住宅密集度が低いため、1工事あたりの整備人口が少なく成果指標である汚水処理人口普及率の目標値に達することが難しくなっている。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 ・公共下水道全体計画を縮小することで、公共下水道の整備区域外となる住民に対しては、個別処理（合併処理浄化槽）を推進していく。汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進するため「合併処理浄化槽設置整備補助制度」の活用を積極的に推進する必要がある。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
町民課	環境衛生係（内線521）

項目番号	5	実施項目	自然環境保全活動及び循環型社会の推進
5年度計画の内容		環境啓発イベント及び効果検証の実施	
5年度の実施内容 と評価、分析		- 砥部小学校と連携した出前講座や、障子山を活用した自然環境保護イベントを開催し、参加者から活動を通しての意見発表を行い、発表された意見を整理し、今後のイベント内容の改善を図る。 - 生活排水処理や動物愛護、自然環境保護など身近な内容についての学習機会を提供することで、自分たちの問題として自ら気づき解決の方法を考え行動していくきっかけとなる事が実感でき、環境啓発イベントを今後計画する上での参考となった。 - 地球温暖化防止啓発のため、松山圏域連携中枢都市圏合同イベントの環境フェアをアイテムえひめで2日間（5,367人参加）開催した。	
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 学校教育における学習機会の提供として、出前講座や、障子山登山イベントを実施するなど、テーマを絞った取り組みを行うことで、より効果的な環境保全活動を推進することができた。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 0千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
町民課	資源循環推進係（内線521）

項目番号	5	実施項目	自然環境保全活動及び循環型社会の推進	
5年度計画の内容		各補助金交付事業の効果検証の実施【ごみ排出量(5,280t)、資源化率(23.3%)】		
5年度取り組み内容 と評価、分析		- 令和5年度のごみ減量化及び資源化推進事業補助金の交付実績は以下のとおりとなっている。 1号事業・・・電気式生ごみ処理機7件（計137,800円）、生ごみ処理容器1件（3,800円） 2号事業・・・ごみ集積整備数10件（269,500円） 3号事業・・・資源化促進事業実施団体の行った資源ごみ回収により、52,540kgのごみを資源化（210,160円） 4号事業・・・小・中学校のPTAが行った資源ごみ回収により、43,020kgのごみを資源化（172,080円） 令和5年度のごみ排出量は5,220 t、資源化率24.1%となっており、循環型社会の形成に着実に取り組むことができている。		
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		bまたはcの理由		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 ごみ排出量・資源化率ともに目標を上回っており、順調に取組が進んでいる。継続して事業に取組み、さらなる向上を図る。		
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	0千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
農林課	林業振興係（内線292）

項目番号	6	実施項目	木育事業を組み合わせた林業振興	
5年度計画の内容		事例の研究を行い事業開始の準備をする。		
5年度の取り組み内容 と評価、分析		高知県佐川町のおもちゃ美術館を視察し、当町の事例を研究した。 また、6年度用にNPOからデザイン考案の見積もりを徴収し準備を進めてきたが、他の事業と調整する必要から予算計上を見送った。		
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		bまたはcの理由 投資的経費のため、実施時期を検討する時間が必要。財源とする森林環境税は長期的な間伐費用を見込む必要があり、十分に調整する必要がある。		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 本町にとって望ましい事業であるが、緊急性は高くないため、必要な検討を行うことにする。進捗の遅れはやむを得ない。		
5年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	総務管理係（内線212）

項目番号	7	実施項目	職員の勤怠管理による人件費等の削減
5年度計画の内容	勤怠管理システムを活用した職員の勤怠管理を実現するため、システム導入に関する調査研究を行い、仕様を決定する。		
5年度の取り組み内容 と評価、分析	勤怠管理システムのデモ実施による検討や資料収集など、システム導入に向けての調査研究を行うことができた。予算化には至らなかったが、出先施設への導入方法やWeb環境整備の必要性など、新たな検討課題も見つかったため、導入に向けて引き続き関係各課とも協議しながら、継続的に取り組んでいきたい。 該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手 bまたはcの理由 導入に向けての調査研究は行うことができたが、導入には至らなかったため		
推進部署の課長の所見	5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 担当課として、導入に向けた調査研究を行い、6年度当初予算へ計上する方針であったが、編成段階で、町全体予算が大幅な歳出超過となったことから、優先順位を考慮し見送っている。 引き続き、調査研究を進め、LCC（ライフサイクルコスト）の圧縮に努める。		
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	情報化推進係（内線254）

項目番号	8	実施項目	キャッシュレス決済の推進	
5年度計画の内容		- 行政手続きに係るオンライン申請に対応したキャッシュレス決済の導入。戸籍税務課窓口キャッシュレス決済対応のPOS端末及びセミセルフ型レジを導入する。 - 社会教育課所管の施設利用予約に係るオンライン申請に対応したキャッシュレス決済を導入する。 【導入業務数 2件】		
5年度取り組み内容 と評価、分析		（内容） - 令和5年10月3日にオンライン申請システムを導入した。導入してシステムでは、申請と同時にオンライン決済ができ、申請から支払いまで一連の流れで完結できるようにした。 - 戸籍税務課窓口キャッシュレス決済対応のPOS端末及びセミセルフ型レジを導入した。 - 社会教育課所管の施設利用予約に係るオンライン申請に対応したキャッシュレス決済を導入した。 【導入業務数 3件】 （評価・分析） 5年度に予定していた、計画内容のとおり、進捗することが出来た。		
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		bまたはcの理由		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 数値目標を達成しており、順調に進捗していることは評価できる。ただし、庁舎内で見ると、戸籍税務課の窓口のみでの取り扱いとなっており、住民の利便性から鑑みると、他の窓口での利活用を検討していく必要がある。		
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
学校教育課		学校教育係（内線701）	

項目番号	9	実施項目	教育におけるデジタル化の推進
5年度計画の内容		遠隔授業が行える環境を整備し、各校で6時限以上実施されること。	
5年度の実施内容 と評価、分析		遠隔授業が行える環境は、各校において整備済みである。 遠隔授業実施時限数は以下のとおり。 麻生小：53時限（骨折により登校できなかった児童への対応が主） 宮内小：4時限 砥部小：0 広田小：0 砥部中：0	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由 本取組はコロナ禍において、臨時休業中の学びの遅れや不登校児童生徒への対応も含めて遠隔授業は有用であると考えられたものである。 コロナ終息後の取組みとして、別室登校児童生徒へ録画配信をするなど、遠隔授業に限らない機器の活用方法を検討する必要があるため、やや遅れ気味と評価した。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 遠隔授業の活用という点では、ライブ配信だけに拘らず、録画してライブラリー配信も有効である。 今後は、別室登校し、視聴を希望する児童生徒へのライブ配信や録画してライブラリーとして自由に視聴できる環境を整備する。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
建設課		管理係（内線272）	

項目番号	10	実施項目	都市構造の見直し
5年度計画の内容		・都市計画マスタープラン（※1）及び立地適正化計画（※2）の策定に係る検討 （※1）「都市計画法第18条の2」に位置づけられる「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるもの。市町村の創意工夫により住民の意見を反映しながら中長期的・総合的なまちづくりの施策として位置づけられている。 （※2）「都市再生特別措置法」の一部改正（平成26年8月施行）により市町村が都市全体の観点から居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する計画。	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		県主催の説明会や他市町の策定状況等の情報収集について取り組んだ。しかし、まちづくりに対する本町の基本的な考え方や姿勢、目指すべき将来像など、多岐にわたる内容であることと、策定に伴う事務量の増加が見込まれるため、引き続き十分な調査等が必要である。	
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 人口減少、高齢化の急速な進行や自然災害の頻発・激甚化、厳しい財政状況下での公共施設の更新等に伴う財政需要の増加など、町を取り巻く社会情勢が大きく変化する中で、まちづくりの基本理念や将来の都市構造等に関する方針となるのが都市計画マスタープランであり、その一部である立地適正化計画は、施設や居住の誘導によって暮らしの機能を維持するための必要事項を定めるものである。今後の本町のまちづくり像を示すうえで、重要な課題であると認識していることから、引き続き情報収集等の必要がある。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
保険健康課、介護福祉課	保険年金係、健康増進係、地域包括支援センター係

項目番号	11	実施項目	高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施
5年度計画の内容		①フレイル該当者の2年後の介護給付費の削減1,173万円（R3-5） ②R5年度フレイル該当者への保健・栄養指導の実施（実施率85%） ③R4年度低栄養該当者への介入によるBMIの維持・改善（改善率60%） ※R5年度値で評価、改善率を算出 ④R4年度糖尿病性腎症重症化予防事業対象者への介入によるHbA1c値の維持・改善（改善率60%）※R5年度値で評価、改善率を算出	
5年度の実施内容 と評価、分析		①フレイル該当者の2年後の介護給付費の削減1,142万円（R3-5） ・R3年度フレイル該当者49人中、R5年度フレイル重症化回避者37人 ②R5年度フレイル該当者への保健・栄養指導の実施（実施率100%） ・KDB（国保データベース）システムで過去1年間レセプト・健診情報がなく施設入所等でない者6人、民生委員の独居高齢者訪問時の基本チェックリストによりフレイル該当者となったR5年度対象者（新規指導対象者）52人、R4年度対象者（継続指導対象者）19人、R3年度対象者（継続指導対象者）12人 ③低栄養防止事業は3人に対し実施し、2人が維持・改善（改善率66.7%） ④健診受診者で、HbA1c7.0%以上の未治療者2人に対し、糖尿病性腎症重症化予防訪問を実施し、1人の改善が確認できた（改善率50.0%）	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 数値からみて、本事業が本来の目的である介護給付費の削減やフレイル重症化回避にもつながっていると評価できる。「だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちの実現」に向けて、これからも地道な努力を続けていきたい。 また、5年度については、個別アプローチに加え、地域包括支援センターと連携して集団へのアプローチにも取り組んだ。これにより、新たなサロンの立ち上げに繋がったケースもあり、高齢者が外出する機会をつくりフレイル予防を推進することができた。6年度についても、引き続き新規開拓が必要と考える。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
学校教育課		学校教育係（内線703）	

項目番号	12	実施項目	部活動地域移行の推進
5年度計画の内容		部活動改革推進計画策定検討会を開催（年3回）し、計画を策定する。	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		地域部活動検討委員会を設置し、2回協議を行い、小学5・6年生、中学1・2年生、中学校教員を対象にアンケート調査を実施した。計画策定には至らなかったが、可能な部活動から令和7年度末までに休日の活動を廃止する方針とし、廃止後の受け皿の確保について今後協議する。	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由 全ての部活動について移行可能か見極める必要があることから、当初の目標であった計画策定には至らなかったためやや遅れ気味と評価した。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 検討委員会において、基本方針として、休日における部活動については廃止することを確認したが、肝心なのはその後の対応である。 子どもたちのニーズが多様化する中で、特定の種目の活動や体験型活動などの受け皿となる組織や体制を構築する必要があり、地域一体となつての取り組みが求められる。 次年度以降は、検討委員会で、受け皿の具現化を目標に協議を進める必要性がある。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	75千円	うち一般財源 53千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推 進 部 署			
子育て支援課		保育幼稚園係（内線722）	

項目番号	13	実施項目	民間主導による公共サービスの提供	
5年度計画の内容		・ 民間による保育施設建設 2施設 （令和4年度にプロポーザル方式により業者選定）		
5年度の取り組み内容 と評価、分析		民間企業により麻生地区にこども園を、宮内地区に保育所を建設し、令和6年度から開園、開所することとなった。また、それに伴い麻生幼稚園及び宮内保育所を令和5年度をもって廃止とした。		
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		b または c の理由		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおりに実施している。今後は町立施設と民間施設の連携強化について取り組む。		
5年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	368,231千円	うち一般財源	55,177千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
社会教育課		文化スポーツ係（内線 711）	

項目番号	14	実施項目	施設利用予約システムの導入
5年度計画の内容		文化・スポーツ施設に、予約申請等の手続きをオンラインで行える「施設利用予約システム」を導入する。 ・システムに関する説明会の開催 ・施設利用予約システム運用開始（10月） 【施設利用者のシステム利用率70%目標】	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		システムは当初の予定通り10月から運用を開始。10月中は各利用者のアカウント作成期間とし、システムからの予約受付は11月からとした。住民への周知のため、システム導入前の全体説明会を1回、導入後のシステム操作説明会を1回開催。その後は窓口での個別相談を実施した。予約件数に対する利用率に関しては各施設によって大きな差があるが、平均して47.3%となっている。 該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手 bまたはcの理由 利用施設によっては、貸出に際し打合せが必要であったり、町外料金の処理をする必要があるなど、システムからの申請が難しい施設もある。また、導入から日が浅いためシステムの周知は完全ではなく、システム利用に結びついていない団体も存在する。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 目標の利用率70%には到達していないため、今後も引き続き利用団体等に周知し利用依頼をする必要がある。また、予約システムの活用が難しい施設については、運用を見直して利用率を向上させることができるか検討する必要がある。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	573千円	うち一般財源 573千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係（内線 254 ）

項目番号	15	実施項目	SDG s の推進	
5年度計画の内容		・ 地域課題の洗い出しの実施 【SDG s に関係した研修の実施（1 回以上）】		
5年度取り組み内容 と評価、分析		令和6年度当初予算の各重点施策に対応するSDG s 目標を設定し書面上見える化することにより意識醸成を図った。 地域課題の洗い出し、及び研修は未実施。		
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		b または c の理由 地域課題の洗い出しは実施できていないため。 意識醸成は図れたものと評価するが、研修実施には至らなかったため。		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 地域課題の洗い出し行うとともに解決方法を検討することを計画していることから、早急に取り組む必要がある。		
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
地域振興課		広報統計係（内線253）	

項目番号	16	実施項目	AIチャットボットの導入
5年度計画の内容		町ホームページの再構築業務にあわせ、AIチャットボットの導入を行い、あらかじめQAやFAQの登録を行う。砥部町公式LINE利用者も身近に利用できるよう、リッチメニューにリンクを貼る。 【ホームページアクセス数1,092,000件】	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		令和6年度の町ホームページのリニューアルに合わせ、AIチャットボットの導入作業が完了し、併せて、砥部町公式LINEのリッチメニューにリニューアル後のホームページをリンクさせることができた。今回のAIチャットボットの導入によって利用者の利便性の向上が図られるものと考えている。 【令和5年度実績 ホームページアクセス数957,433件】	
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 AIチャットボットの導入が目的ではなく、電話やメールでの問い合わせを減らし、利用者が求める回答がどれだけ精度の高いものとなり得るかが大切であり、KPIのホームページアクセス件数を達成するためにも今後のQAやFAQの更新作業が重要である。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	総務管理係（内線212）

項目番号	17	実施項目	組織・機構の整備	
5年度計画の内容	組織機構改革の効果検証を行い、必要に応じて見直しを行う。			
5年度の取り組み内容 と評価、分析	各課等へのヒアリングを実施し、組織機構改革後の成果と課題について検証を実施。 ヒアリング結果を踏まえ、より効果的な人員配置を実施。 【見直し内容】 ヒアリング結果を基に、分掌事務の平準化、財政部門及び地域振興部門の強化を図るため、現行の15課（局）46係から16課（局）48係体制に見直し、令和6年度から新体制に移行。			
	該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手			
	bまたはcの理由			
推進部署の課長の所見	5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおりに実施しており、引き続き効果的な組織の在り方について、検証・検討する。			
5年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
建設課		管理係（内線272）	

項目番号	18	実施項目	建築に係る組織の立ち上げ	
5年度計画の内容		施設管理及び営繕業務に関する業務量の把握		
5年度の取り組み内容 と評価、分析		過去5年間の主な建築工事・設計業務について件数と事業費の拾い出しを行った。		
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		bまたはcの理由 事業に対する人員の体制や業務上困難であったことなどの調査ができておらず、分析が十分にできないため。		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 毎年一定の業務量があることが分かったため、本町としてどのように取り組むかを検討する必要がある。		
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画財政課		企画政策係（内線254）	

項目番号	19	実施項目	若手職員プロジェクトチームの活性化	
5年度計画の内容		- 政策立案に関する研修を1回以上実施。 - 活動終了時に報告書を作成する。 【政策提案数2件以上】		
5年度の取り組み内容 と評価、分析		人口減少対策事業について検討会を3回開催し、出会いの場創出に係る事業が2件提案され、うち1件が令和6年度の予算化事業となった。 該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手 bまたはcの理由		
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおりに実施できている。令和6年度の出会いの場創出に係る事業において引き続きメンバーの協力を得ながら進める。		
5年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画財政課		企画政策係（内線254）	

項目番号	20	実施項目	証拠に基づく政策立案（EBPM）の推進
5年度計画の内容		- EBPM に関する職員研修を1 回以上実施。 - 各種計画の政策の目標、成果指標等の洗い出しを行う。	
5年度取り組み内容 と評価、分析		計画内容について未着手	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 ☒ c 未着手	
		bまたはcの理由 係員欠員も関係し、着手できなかった。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 検討にも至っていない状況であるため、令和6年度においては、早急に各種計画の政策の目標、成果指標等の洗い出しに取りかかる必要がある。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
商工観光課		砥部焼観光係（内線261）	

項目番号	21	実施項目	各種観光施設の在り方の検討	
5年度計画の内容		各施設についての現状の洗い出しを行う。		
5年度の取り組み内容 と評価、分析		（取り組み内容） 各施設についての現状の洗い出しを実施。 ・ 砥部焼伝統産業会館、砥部町陶芸創作館 物価上昇等により、収支が悪化している。文化的施設の意味合いが強く、支出を補えるほどの収益を得ることが困難な状況。 ・ 砥部町とべの館 物販がメインの事業となっており、収支は良好。 ・ 砥部町峡の館・砥部町交流ふるさと研修の宿・砥部町農村工芸体験館 指定管理制度を導入しており、必要最小限の経費での運営が図られている。 ・ 砥部町とべ温泉 収支悪化により、令和5年度末をもって廃止。		
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手		
		bまたはcの理由		
		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおり進捗している。 とべ温泉については、先行して検討を進めていたため、令和5年度末をもって廃止が完了。令和6年度より、民間企業へ施設の無償貸与を行い運営を継続する。 砥部焼伝統産業会館、砥部町陶芸創作館について、今後統廃合や指定管理を含め、施設の在り方を検討する。		
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
保険健康課		保険年金係、健康増進係	

項目番号	22	実施項目	特定健診受診率の向上
5年度計画の内容		特定健診の未受診者対策を積極的に行い、受診率の向上を図ることにより、病気等の早期発見・早期治療に繋げ、重症化を防ぐことで国民健康保険被保険者の健康増進及び国保運営における医療費の適正化に努める。また、受診率の向上においては、バスを活用したとべっち健康ドッグツアーの導入やみなし健診の実施について準備を行い、特定健診受診の利便性を高める。 【法定報告特定健診対象者】3,224人 【受診率目標】40.0%	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		○完全予約制：30分ごとの人数制限による完全予約制 ○とべっち健康ドッグの推進：パンフレット等による啓発勧奨 ○とべっち健康ドッグのバスツアーを12月に3日間計画したが、受診者は0人 ○みなし健診の実施について、実現の可能性について内部協議を行った。 ○がん（胃、肺、大腸、乳、子宮）検診無料事業（1種又は2種） 対象者は特定健診とがん検診の同時受診者：373人、373件 40歳到達者及び前年国保加入者は2種を無料：49人、98件 ○会計年度任用職員による電話勧奨：436人勧奨、161人受診 ○ナッジ理論やAIを活用した勧奨ハガキ（※） 4月281通、2,687通、8月700通、12月1,132通 ○町内医療機関への協力依頼：訪問時にチラシやポスターを配布 【受診率5月現在】34.6% 該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 ○ b やや遅れ気味 c 未着手 bまたはcの理由 ○令和4年度は35.3%だったが、令和5年度は健診の案内方法を変更したためか、受診率は伸び悩んだ。 ○電話勧奨は、成果がみられたため、次年度からも継続したい。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 5年度からは、ペーパーレス化と経費削減及び事務の簡素化を目的として、郵送での受診案内を取りやめたことが原因で、4年度に比べ受診率が低下した。コールセンター予約やweb予約が困難な人には、代理でのweb予約を実施したが、周知が行き届かなかった。疾病の早期発見及び重症化予防には、特定健診受診率を上げることが重要であると考えため、6年度は係だけでなく課をあげて受診率アップに取り組む。（①保健センターの職員は、各自が受診率を上げる取り組みを評価目標に設定し取り組む。②保険年金係は40歳以上の国保加入者に窓口で受診案内を行う。③診療所でも個別検診ができることを知らせるポスターを掲示し、受付でも案内をする。）	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ 病院に通院歴なしで健診受診歴なしの人（健康に自信のある人）、病院に通院歴ありで健診受診歴なしの人（勘違いしている人）等、対象者の特性・状況に合った文面で健診受診を促す勧奨ハガキ

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画財政課		情報化推進係（内線254）	

項目番号	23	実施項目	ペーパーレス化の推進
5年度計画の内容		- 電子決裁・電子保存システムの導入を検討 - 連携できる各種システム等の洗い出し・導入検討 - ノートパソコンへの転換	
5年度の実施内容 と評価、分析		（内容） - 現在の決裁スキームを洗い出し、今後の導入に向けた検討を実施した。現状ですぐにできる方法も検討したが、実施への支障が多くあり、解決できない問題もあったことから、決裁から保存までのスキームをペーパーレス化を推進するためには、電子決裁・電子保存システムの導入が必要である。 - 現在、各課において、様々なシステムの導入を行っているところであり、今後は、ガバメントクラウドへの移行もあることから一元管理し、集約して運用する必要があるため、洗い出しを行った。 - 現在、デスクトップ型のPCでは、持ち運びが出来ず、どうしても紙に印刷をして会議資料等を用意する必要があるが、ノートPC型に転換することで会議時等での資料をペーパーレス化することが出来た。 （評価・分析） 5年度に予定していた、計画内容のとおり、進捗することが出来た。	
		該当する箇所に○をつけてください。 ☒ a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 数値目標を達成しており、順調に進捗していることは評価できる。紙文化が、DXの推進を図るうえで支障となることから、今後もペーパーレス化の推進を図れるよう、関係課と協力をして推進すること。また、今後は、各種検討が終わり、様々なシステムの実装に移行していく時期になってくることから、費用対効果等を鑑みながら、取組みを推進すること。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署															
上下水道課		水道管理係（内線 561）													
項目番号	24	実施項目	水道事業の業務効率化												
5年度計画の内容		他市町との共同発注実施に向けた「漏水調査業務」の調査検討、業務実施（段階的に市町を拡大） 【目標経常収支比率】105%													
5年度の実施内容 と評価、分析		事務局（松山市）と担当者会を開催し、市町の実績を基に費用の試算を行い、漏水調査の共同発注実施に向け協議を行った。 <table border="0"> <tr> <td></td> <td>(収益的支出)</td> <td>(漏水調査費)</td> <td>※R4予算ベース</td> </tr> <tr> <td>松山市</td> <td>7,756,400千円</td> <td>74,667千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砥部町</td> <td>314,691千円</td> <td>3,050千円</td> <td></td> </tr> </table> 【R5経常収支比率】109.4%			(収益的支出)	(漏水調査費)	※R4予算ベース	松山市	7,756,400千円	74,667千円		砥部町	314,691千円	3,050千円	
			(収益的支出)	(漏水調査費)	※R4予算ベース										
		松山市	7,756,400千円	74,667千円											
砥部町	314,691千円	3,050千円													
該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手															
bまたはcの理由 財政規模が違いすぎることもあり、按分等の算出について協議が整わなかったため、5年度計画に挙げている業務実施には至らなかった。調査方法や積算方法の再検討を行い、実施の可否について継続協議することとなった。															
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 各市町の実情、管理方法がまちまちであり、共同で行うことは、課題が多い。課題を一つ一つ解決するため、継続して協議することが必要である。													
5年度の実施による	削減額	0千円	うち一般財源 千円												
	増収額	0千円	うち一般財源 千円												
	新たな支出額	0千円	うち一般財源 千円												

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
地域振興課		ふるさと創生係（内線 252 ）	

項目番号	25	実施項目	ふるさと納税の推進
5年度計画の内容		返礼品開拓、サイトの追加を行い、寄附額1.0億円を目指す。	
5年度の実施内容 と評価、分析		返礼品開拓として、委託業者と協力しながら、商品数としては新規で59品追加、新規事業者として10社追加した（例：訳あり柑橘、シキシマパンの定期便、砥部焼陶芸体験チケット、鶏肉、そうめんなど）。 ふるさと納税大手ポータルサイト「ふるなび」を追加するとともに、ふるさとチョイスのパートナーサイトとして「ふるうぽ」への掲載も開始し、ポータルサイトへの掲載は合わせて9社となった。 寄附額については、寄附目標額に届かず、95,290千円であった（令和4年度96,156千円、昨対比99%）。	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 ○ b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由 新規返礼品の増加により、昨年と比べ寄附申込数は微増した（5年度3,290件、4年度3,243件）が、高額寄附が見込まれる紅まどんなの受付が令和4年度より早い段階で打ち切りとなり、平均単価が減少したことにより、寄附目標額に届かず、昨年よりも減少する結果となった。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 寄附金額の目標達成には至らなかったが、事業計画のとおり返礼品の開拓及びポータルサイトの追加を行ったことで新たな寄附者を獲得しており、ふるさと納税の着実な推進につながっていると考えられる。しかしながら、特定の柑橘に寄附が集中していることから、寄附者のニーズに十分に答えられるよう新たな仕入れ先（柑橘事業者）の開拓も必須である。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	4,236千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	2,438千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画財政課		契約資産係（内線 216）	

項目番号	26	実施項目	普通財産の貸付、売却
5年度計画の内容		・町有財産（行政財産・普通財産）の整理を行い、普通財産等のうち、実際に売却や利活用できそうなものを洗い出し区分する。 ・資産売却や利活用ができそうな物件があれば売却・貸付を実施する。 ・HPで紹介するなどPR 活動を実施する。 【数値目標：貸付件数19 件、売却件数1 件】	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		町所有財産のうち、普通財産（売却等可能資産）登録物件について抽出し、財産（土地）の所在調査（現地確認）を実施した。 ①普通財産：土地 322件のうち現地状況確認20件（R4より累計40件） ※引き続き現地調査を実施し、財産状況の確認を行う。 ②売却（利活用）物件 ・満穂町有地（約10万㎡）の売却→理事者協議・検討の結果売却取止め ・貸付契約件数・・・20件（長期18件・短期2件） ・麻生幼稚園（R5廃園）→R6利活用（プロポ公募）を予定	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおり実施している。引き続き、財源の確保、財産の有効活用のため、町有資産の利活用等について取り組む必要がある。	
5年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画財政課		財政係（内線216）	

項目番号	27	実施項目	円滑な財政運営に向けた基金の積立
5年度計画の内容		・ 財政調整基金の額を標準財政規模の20%を目標に維持する。 【数値目標：財政調整基金積立額 100,000 千円】 【数値目標：公共施設更新準備基金積立額 10,000 千円】 【数値目標：災害対策基金積立額 10,000 千円】	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		財政調整基金については、地財法第7条により決算剰余金の1/2以上を翌々年度までに積立てなければならないが、5年度は補正財源として充てたため、6年度当初予算に当該額を計上した。 公共施設更新準備基金及び災害対策基金については、預金利息分のみの積立てとなった。	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由 本来であれば、決算剰余金（繰越金）が確定する6月以降、9月補正にて剰余金の1/2以上の積立金を予算計上すべきだったが、補正財源不足のため積立てることができなかった。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 近年財政調整基金の取崩しが常態化してきている。財調を取崩さず、財調積立分を公共施設更新準備基金や災害対策基金へ回せるような財政運営に努めなければならない。 公共施設更新準備基金は大きく積み増すことなく取崩し続けてきたため、残高が僅かとなり、今後の老朽施設の統廃合を見据え、計画的に積立てる必要がある。 災害対策基金については、いくらまで積立てるのか、防災対策及び災害復旧担当と協議しておかなければならない。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和5年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画財政課		企画政策係（内線254）	

項目番号	28	実施項目	使用料・手数料・入館料等の見直し
5年度計画の内容		・使用料・手数料等の見直しに関する基本方針を見直し ・基本方針に基づき、使用料・手数料・入館料の妥当性について各課で検討 ・検討内容の結果について調査・取りまとめを実施	
5年度の取り組み内容 と評価、分析		使用料・手数料・入館料等の見直しにおける基本的な考え方を策定した。	
		該当する箇所に○をつけてください。	
		a 計画どおりに実施 b やや遅れ気味 c 未着手	
		bまたはcの理由	
		各課での検討内容の結果についての調査・取りまとめは実施できていないため。	
推進部署の課長の所見		5年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 策定の時期もあり、各課での検討期間が十分確保できなかったため、調査には至っていない。各課での検討内容の結果についての調査・取りまとめについて、令和6年度の次年度予算要求の時期までに実施するように取り組む。	
5年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。